

◆学委の拡声  
◆教員の声を  
◆力策を29域  
◆対主体の地  
◆指力の県～映



与那嶺 義光 議員

**問** この問題の根底には教育行政における上下の体質がある。すべての児童・生徒を対象にするのではなく、必要であれば問題を抱えた児童・生徒のみを対象にすべきでは。指導主事 一部の子には問題の背景を共有するために必要。どうするか検討する。

**問** 教員の多忙化の現状からも全員対象は問題。問題を抱える子供たちのケアを集中的に対応する仕組みが大切。カルテの問題を議論するにも、委員会や校長主導ではなく、現場の教員の声を最大限にふまえることが大事。さっこん管理教育の強化で学校現場や教員が萎縮する流れがあるが、西原町教委は現場の

教員や保護者を信頼する姿勢が大事では。全員のカルテは先生方も大変な負担。ただカルテのおかげで不良生徒も減ったという評価もある。

**問** 2年連続の全国学力テスト最下位の結果を踏まえ、県教委は危機感をもって更なる学力向上運動にまい進している。だが、学校現場や大学教員の中には画一的で知識偏重の取り組みに異論もある。地教委(西原町)の独自性の観点からすれば、県教委の方針をストレートに受けるのではなく、現場の教員や保護者の声を大事にした独自の学力対策があつてよい。

**指導主事** 県の方針も受けているが、西原町独自の学力向上対策「ゆいプラン」もあり、学力対策だけでなく心の教育も大事にしている。

**問** 全国学力テストは成績だけでなく、学習の定着や課題、つまづきを分析し、今後の授業に生かすことが目的。現場の教員が中心となった対応が必要では。

**指導主事** 成績でいえば、小学校があと一歩で全国平均。中学校は県と全国との

中間に位置。分析と対応策は、まず言語活動を重視した授業改善と教員がチームを組み自分の授業力、教育力を高めたい。

**問** 上で傾向を分析し、現場に下ろすのではなく、現場の教員が主体的にかかわることが肝心。連続全国1位の秋田県は現場の分析力や実践力を生かし基礎学力を築いている。

**指導主事** 分析の仕方や活用する方法に指導助言している。決して上からの目線での指導体制ではない。



全国学力テスト新聞報道

**問** 県道29号の拡幅は幅30mで中央分離帯もあり、また高速道路の下をくぐる住民の懸念は現在よりも利便性が低下しないかだ。設計段階から地域の声を反映させる仕組みが必要だ。

**土木課長** 設計段階から地域住民との意見交換ができるよう県と調整したい。

乳がん検診券の無償化について

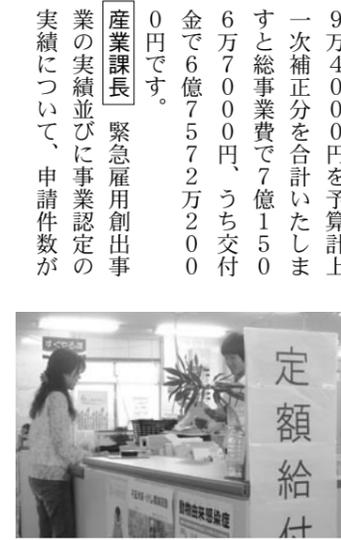
**問** 昨年度の第一次、第二次補正予算の取り組み状況についてお聞きいたします。イ、緊急雇用創出事業の実績。ロ、本町での事業認定の実績。ハ、2兆円を超える家計金融支援対策債による定額給付金、子育て応援特別手当、妊婦健康診査臨時特別交付金、介護従事者処遇改善特別交付金、地域活性化、生活対策臨時交付金などの本町の予算規模。また実績について総務課長 国は原価の経済情勢への緊急対応として一次補正予算で安心実現のための緊急総合対策11.5兆円、二次補正予算で生活対策27兆円、合わせて38.5兆円程度の経済対策を実施、



長浜 ひろみ 議員

本町の経済対策にかかる事業としては一次補正予算分で地域活性化緊急安心実現総合対策交付金事業の総事業費798万5000円、うち交付金で534万3000円、二次補正予算分で地域活性化生活対策臨時交付金事業の総事業費で6000万円、うち交付金で542万2000円、子育て応援特別手当の総事業交付金とも2840万円、定額給付金給付事業の総事業費交付金とも5億5636万5000円、介護保険特別会計においては介護従事者集合改善臨時特別公金基金積み立て事業の総事業費として交付金とも1109万8000円を実施しており、また、妊婦健康診査事業は、平成21年度当初予算で総事業費5121万9000円うち交付金で1909万4000円を予算計上、一次補正分を合計いたしましたと総事業費で7億1506万7000円、うち交付金で6億7572万2000円です。

**産業課長** 緊急雇用創出事業の実績並びに事業認定の実績について、申請件数が



定額給付金窓口

218件、認定件数が206件となっております。

**問** 教育費の負担軽減、スクールニューディールについて

**教育総務課長** 新経済対策で教育関連では小中学校関係での情報教育の充実を図るため、教育用パソコンの入れ替え、職員用180台、児童生徒用が全体で210台、校内LANの充実。

**問** 子宮頸がん、乳がん検診無料クーポン券配布について

**健康推進課長** 女性特有のがんの検診受診を勧奨するため、クーポン券で検診費の自己負担を免除できるようにする国庫補助事業で、県の説明会受け9月の補正予算に計上し、10月以降のスケジュールで予定しているところでは。

去る4月5日、オバマ米大統領はチエコのプラハで「核兵器のない世界」を呼びかけた。64年前の8月6日に広島に投下された原爆は一瞬にして14万人を殺し、8月9日長崎に投下された原爆では7万人の人びとが殺された。人類史上初めて日本に落とされた2発の核兵器は2万3000発にふくれあがり、地球上の全生命を何度も殺せるといふ恐怖の時代をつくっている。

オバマ米大統領が核兵器のない世界を呼びかけている今こそ、非核平和の世界にむけて連帯の行動を示すことが求められている。24年前に「非核反戦平和都市宣言」を出した西原町から

◆庁舎建設について  
◆小波津団地の残地問題について



前里 光信 議員

**問** 庁舎建設について町長は庁舎建設検討委員会に現在の位置嘉手苅から町立図書館などがある而那城の「公共施設ゾーン」に移転し、保健センター等を併設する複合施設案を示された報道されています。その件はこれまでの方向と反するものであり、町民が納得できるそれだけの説明責任を伴うものであります。庁舎、保健センター、防災センター、町民ホール、これらの複合施設と土地取得に予算及び時間がかかるものであり、駐車場も含め説明を求めたい。

**町長** 企画政策課長 庁舎の位置については総合計画都市マスタープランで「公



庁舎建設の新聞報道

共施設ゾーン」と位置づけられているので、そのようにしたいと思えます。複合施設にした最大の理由は庁舎建設だけでは国からの補助の制度がない。複合施設にする事で国交省のまちづくり交付金の活用ができることです。敷地面積については予定は1万3000㎡、駐車場は公用専用53台、一般利用者400台、合わせて453台を考慮しております。土地取得については基本構想の作成後速やかに関係地権者側と用地交渉を開始したい。総工費は約36億円を考えています。

**問** 小波津団地の残地問題については小波津団地自治会と町長との間に何度か交渉がもたれました。その結果、前町長から引き継ぎ事項、確定書があると思えます。上町長は今後、具体的にどのような形で実施するかお聞きします。

この件につきましては長年の検討課題になっており、これまで解決に向けて町と小波津団地自治会で行っている調整会議がなされてきているようです。その中で平成20年3月に小波津団地にかかる残地の当自治会への無償譲渡についてという事が要請文書で提出されており、まず一つ目に、その無償譲渡について一つの条件が付されているように一つ目に所有権が移転された場合、いかなる場合があつても移転々貸し等は行わない。二つ目に移転費用は自治会が負担する。三つ目に今後の判断は新町長に委ねる事で引き継ぎがされている。この件はこれまでの経緯からこの土地は小波津団地に帰属すると考えます。無償譲渡で解決する故今しばし時間を貸してください。

◆核兵器廃絶で  
◆オバマ米大統領と連帯を  
◆モノレール西原駅と結ぼう  
◆駅と結ぼう



伊礼 一美 議員

去る4月5日、オバマ米大統領はチエコのプラハで「核兵器のない世界」を呼びかけた。64年前の8月6日に広島に投下された原爆は一瞬にして14万人を殺し、8月9日長崎に投下された原爆では7万人の人びとが殺された。人類史上初めて日本に落とされた2発の核兵器は2万3000発にふくれあがり、地球上の全生命を何度も殺せるといふ恐怖の時代をつくっている。

オバマ米大統領が核兵器のない世界を呼びかけている今こそ、非核平和の世界にむけて連帯の行動を示すことが求められている。24年前に「非核反戦平和都市宣言」を出した西原町から



歌碑「梅の香り」

オバマ米大統領に連帯のメッセージを送ろう。

**町長** アメリカが広島・長崎に原爆を投下したことを意識し、核を使用した唯一の核保有国としての道義的責任があるということをとらえて、核のない平和で安全な世界を米国が追求すると宣言。歴代大統領ではなかった。

西原町も去る大戦で住民の約半数近くが犠牲になつたことから「非核反戦平和都市宣言」が採択され各種平和授業をすすめてきた。オバマ演説に賛同し連帯して世界の平和を追求していく立場でメッセージの起草を検討したい。

歴史的文化遺産

**問** 歌碑梅の香り、内間御殿、ペリー探検隊野営地跡、歴史の道など町内の歴史的な文化遺産を巡検し町民が誇りをもって町づくりを進める気運づくりを

生涯学習課長 内間御殿など文化財などを活かした町づくりは大事。教育委員会としては文教のまちガイド養成講座を開催し、文化財ガイドも養成している。民俗芸能なども紹介したい。歴史の道

**問** 歴史の道のルートを調査する考えはないか。

**生涯学習課長** 文献資料や地籍図などから、おおまかなルートはわかるが、より正確なルートを解明するために「歴史の道」の専門の先生方に依頼したい。

モノレール西原駅

**問** モノレール西原駅が10年後に開設予定。西原駅から内間御殿、首里城、内間御殿、中城へと史跡めぐりができる環境整備が必要ではないか。